

SAPHO 症候群について

最近東京から来た患者さんで、SAPHO 症候群という病名を東京医科歯科大学で付けられてきた方がいます。もちろん治療法はステロイドしかないと言われ、わざわざ東京から松本医院に受診された方です。この患者さんの手記も既にありますから[こちら](#)を読んでください。

権威と権力を独占している世界中のアホな医学者たちが言う SAPHO 症候群とは、原因不明の骨・関節症状と皮膚症状を呈する症候群であります。ここで症候群の意味について述べておきましょう。症候群は英語で“**syndrome**”と書き、シンドロームと発音します。症状と症候は同じ意味です。従って SAPHO 症候群は、SAPHO 症状群といってもよいのです。症候群とは、症状が同時に体のあちこちに起きる一群の症状のことです。原因不明ながら共通の病態（自覚症状・検査所見・画像所見など）を示す患者が多い場合に、そのような症状の集まりに名をつけて、扱いやすくしたものであります。シンドロームの原義は「同時進行」であり、同時発生様の社会現象などを指す用語としても使われます。正しいシンドロームの定義は、ある根本原因から生じた身体的・精神的症状の総称であります。それでは SAPHO 症候群の根本原因はなんのでしょうか？全身の神経細胞や様々な細胞に感染した殺しきれないヘルペスが原因であり、様々な細胞に入り込んだヘルペスと免疫との戦いにより症状（症候）が出ているだけなのであります。

ちなみに「SAPHO」とは滑膜炎 (synovitis)、痤瘡 (acne)、膿疱症 (pustulosis)、骨化症 (hyper-ostosis)、骨炎 (osteitis) の5つの症状の頭文字をとったものなのです。未だ原因・機序は明らかではなく、細菌感染や金属アレルギーが原因と推定されていますが、実を言えば原因はステロイドホルモンで免疫を抑えている間に全身に広がったヘルペスなのです。ワッハッハ！現代の病気の原因は8種類のヘルペスと7500万種類の化学物質しかないのはご存知ですね。風邪などは病気ではありませんね！ワッハッハ！